



身近な問題を考える人権学習会

人権教育というと、「難しい・・・」「堅苦しい・・・」「身近に感じられない・・・」という声が聞こえてくることがあります。つい、どこかの誰かの話のように考えてしまいがちですよ。でも、本当はもっとわたしたちの身近にあって、誰にとっても自分事であるのが人権です。

近頃は、地域の中でのつながりや家庭内のつながりが薄くなってきているともいわれます。そんな中、人と人がお互いを認め合えるあたたかで明るい雰囲気の中で、言葉を交わし、自由に思いを伝い合える機会を、人権学習の一場面として位置づけられたら素敵ですよ。そんなワークショップをご紹介します。



上の「人権マップ」から、「これはやさしいな」とか「これは気になるな」と感じる場所を探し、それを伝え合い考え合うワークショップです。人それぞれ感じる場所がちがっていて、そのちがいが人権を視点とした新たな気づきを促してくれます。このようなワークショップなら人と人がお互いに笑顔で自由に語りながら人権感覚を高め合う時間となり、なんだか人権学習会のイメージも変わってきませんか？

個別の人権課題について学ぶことが大切であると同様に、身近な日常生活を人権の視点で見つめ直すことも時には大切です。これまで自分だけでは気づかなかったようなことに気がつき、ハッとさせられることがあります。こんな経験を通して、多くの方の「家庭が、地域が、もっとみんなが安全に、安心して、暮らしやすくなったらいいな」という願いが高まるといいですね。そして、それが人権を尊重した地域づくりにつながっていくと素敵ですよ。